



長倉大輔 准教授

専門:計量経済学、
時系列分析、金融計量

(インタビュアー:迫本・長山)

『テーマは自由、やりたいことを統計的に!』

Q. 長倉先生が最近注力されている研究内容、また、ゼミ生が研究していることなんですか？

僕の専門は広く言えば計量経済学、その中でも時系列分析の理論的な研究をしています。また、ここ何年かはファイナンスのデータに関する計量分析についての理論や実証分析も行っています。具体的には1分毎とか1秒毎に観測される高頻度データと呼ばれるデータを使って、金融資産のリスクの評価・測定方法などについての理論、実証研究をしています。

ゼミ生には好きなことをやらせてもらっています。基本的には統計分析をするのであれば何でもよいことにしていて、テーマはゼミ生に自由に探して来てもらっています。僕が教えるのは、そのテーマをどうやって統計的に分析するのかという方法や実際にそれを行うための統計ソフトの使い方です。

例えば、今年の3年生は4つグループがあって、それぞれ量的緩和政策の企業の投資構造への影響、企業の海外進出の要因分析、小中学生の学力の決定要因についての分析、量的緩和政策の物価指数への影響などをテーマに研究をしています。

ゼミ生の傾向として、毎年大抵1グループは社会問題について研究していますね。例えば1期生は、子供を持つことへの生活満足度への影響について研究とかしているグループがいましたし、去年のゼミ生だったら大学の学費はどうやって決まるのかとか、とかを研究していましたね。その結果、喜ばしい事に(?)慶應はいろいろな要素を考えると必ずしも学費が高いとはいえない事がわかったみたいで、予想が外れて残念そうでしたね(笑)。

『あくまでも手助け。重要なのは“主体性”』

Q. 長倉先生の教育理念や学生への接し方を教えてください

僕は、少なくとも大学の先生というのは、あくまでも学生の皆さんが勉強するのを手助けする立場であると思っています。僕が学生時代やその後の社会人生活を通して痛感した事は「自分が何かを習得できるかどうかは全て自分にかかっている」という事です。そういう意識を持つと学生生活がガラッと変わるんじゃないかと思います。すごく充実してくるんじゃないかと。

その中で勉強を一生懸命やるって人は手助けしたいと思いますし、リソースの一つとして教員をどんどん利用して欲しいですね。最初は自分が何に興味があるのかわからないと思いますが、学生時代はそれを探すのに非常に適した時間だと思いますし、何か一つ頑張れるものを見つけて欲しいと思います。勉強に限らず何か一つをとことん頑張ってみるといのはその後の人生にとってものすごく貴重な経験になりますから。

学生の皆さんには自分で主体的にできるようになって欲しい。なので僕は何かそのためのヒントを与えたり、あくまでも引っ張るといのか押し上げるというようにやりたいなと思っています。手助けは必要な時しかない感じですかね。（そういうことを言うと）冷たい人だと思われそうですが（笑）。

『3年生で心機一転、それまではなんとなく。』

Q. 長倉先生の学生時代のお話、教員になろうと思ったきっかけ、趣味等を聞かせてください

僕の学生時代は、実はわりと勉強してなかったですね、本気になったのは結構遅くて3年生になってからくらいです。それまではなんとなくやっていました。3年生になってある出来事があって、心機一転して頑張ろうという気になって、そこから頑張りだしました。そして色々頑張った結果、自分が好きなのは勉強といつか研究みたいなものだというのが分かって、そこからそういう方向に進み始めました。計量経済学を選んだ理由は、最初に統計学の講義を受けた時に一番興味が持てたからです。統計学を勉強しておけばいろいろと応用が利いて

漬しがききそうだということもあったかもしれません。身近なデータとしては家計簿を分析したりしてましたね。分析するとどういう傾向があるのかわかって、計画も立てやすいですし。いろいろなデータを分析するのは面白かったですね。そうして統計学や計量経済学に興味を持って、もっともっと研究したいと思ってやっていたらいつのまにか大学で働いていました。こう言うと好きなことばかりしてきたみたいですが、実はその過程でいろいろと好きではない事や興味がない事もたくさんしてきましたね。むしろ好きなことを続けるためには自分がやりたくない事もやらないといけない、やれるようにならないといけないんじゃないかと思います。

さっきも言ったように教員になろうと思ったきっかけというのはあんまりなくて、好きなことをやっていたらいつの間になっていた感じですね。研究をやっていて、研究をやるのに一番いい環境を考えていたら教員になっていました。

趣味はこれと言って無いですが、サッカーは好きでよく見えています。やる方はあんまりやらないですが。好きなチームというか選手は、ベタですが香川や本田とか長谷部ですかね。サッカーのニュースはよくチェックしています。学生の皆さんともサッカーの話をいろいろしたいですね（笑）

『求めるのは“これから”真面目な人』

Q 長倉ゼミを志望する2年生に求めるものは何ですか？

基本的には真面目にやる人であればどんな人でもいいです。また、これから真面目にやろうという人であれば、これまで真面目じゃなくてもいいです。やる気や自分でやろうという自主性が強い人を求めています。

今までちゃんとやってきたかどうかは、これからどうなるかを予想するのに役立ちますが、実際それが時系列分析の考え方ですけど、人間は急に変わる人もいるし、あんまりそこまで1、2年生の活動とか成績にはこだわらないですね。とこいつ面接では厳しい質問を浴びせたりしますが（笑）

『とにかくがんばれ（笑）』

☆最後に2年生へのメッセージをお願いします☆

何もやりたいことが無い人は全部を頑張ってください、きっと何かが見つかります。何かやりたいことがある人はそれをそのまま頑張ってください。とにかく何か頑張ってください（笑）。

あとは今のうちにいっぱい失敗するといいと思います。チャレンジして失敗してチャレンジして失敗して、というのは若いうちにやっておいた方がいいです。私も今思うともっと失敗しておけばよかったと少し後悔しています。この年になるとなかなか失敗できないので（笑）。いい年のおじさんになると失敗するのが怖くなりますし、失敗した時のダメージもでかいです。できればいくつになっても失敗を恐れないチャレンジ精神を持ったおじさんでありたいものですが、なかなか難しいですね。